

Panasonic

テレビ受信用機器

カタログ



ご販売店・ご販売会社用

本カタログ掲載商品の価格には、配送・設置調整費、アンテナ・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。

テレビ受信機器の基本システム

新築・リフォーム時には、地上・BS・110度CSデジタル放送に対応した受信システムの配線をおすすめします。

アナログテレビ放送の停波により、デジタルテレビ放送への移行が完了しました。新築やリフォームを予定されているご家庭には、地上デジタルテレビ放送の視聴に伴い、BS・110度CSデジタル放送もご覧いただけるデジタル放送対応システムの設置・配線をおすすめします。

地上デジタル放送やBSデジタル放送、110度CSデジタル放送など、多彩なチャンネルを高感度に受信し、高画質で楽しめる信頼のテレビ受信機器を取り揃えております。

1 受信アンテナ機器 / 2 アンテナ設置用部材

▶ P.07-09



地上デジタル放送対応UHFオールバンドアンテナ



地上デジタル放送用平面アンテナ
(ベランダ壁面設置対応)



BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ

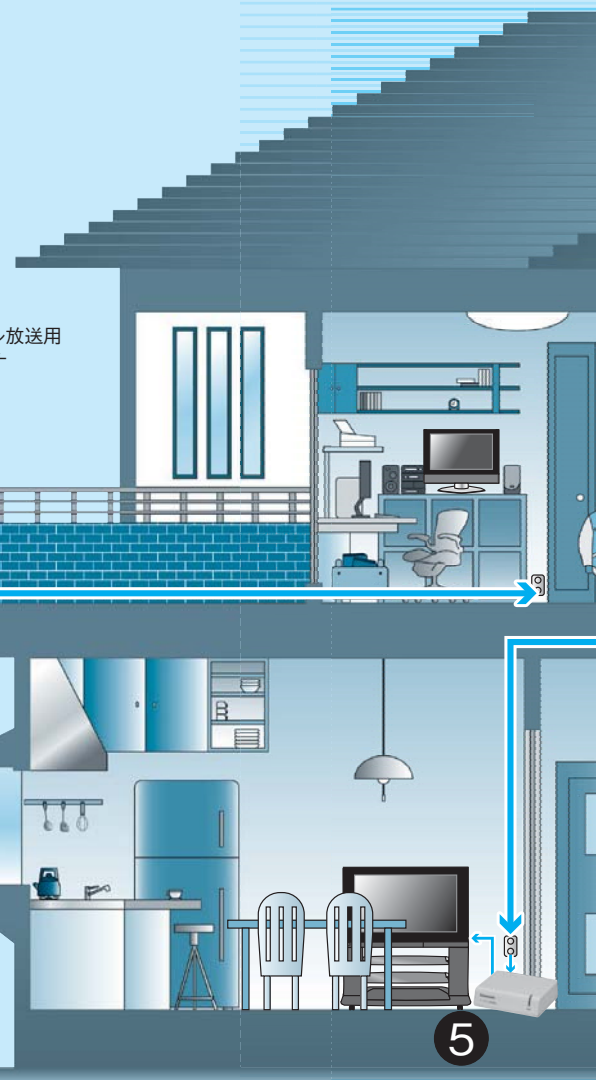
地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。すでにUHFアンテナが設置されている場合でも、アンテナが送信局方向を向き、地上デジタル放送の周波数帯域をカバーするオールバンドタイプでない場合、別のUHFアンテナが必要となります。

BS・110度CSデジタル放送の個別受信では40～45型BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ、マンションのような共同受信では75型のBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナが適しています。

アンテナの設置時には、他のアンテナとの距離をできるだけ離すようにしてください。また、庇(ひさし)などの障害物からは1メートル以上距離をとってください。屋根馬には錆びにくい溶融亜鉛系メッキ処理された高耐候性型がおすすめです。アンテナ支線は、支線それぞれにかかる張力が均等になるように設置してください。錆に強いステンレス製の支線と支線ウケ線でしっかり固定してください。

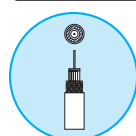
(アンテナマストが長くなる場合、2段支線が必要です。)

1 地上デジタル放送用平面アンテナ



5

3 伝送路機器 接栓類・給電線



同軸ケーブル

地上デジタル放送・衛星放送(BS・CS)受信には、同軸ケーブルをご使用ください。JCSAT-3、JCSAT-4Aを使用したスカパー!や地上・BS・110度CSデジタル放送の一軸伝送には、S-4CFB、S-5CFBと同等品の高性能特性ケーブル・F型接栓をご使用ください。

4 伝送路機器 混合器



CS・BS/U混合器

アンテナ出力を干渉しないように異なる周波数帯域(CS/BS/UHF/FM)にまとめる機器を混合器、反対にまとまったアンテナ信号を周波数帯域に応じて分ける機器を分波器といいます。地上波受信UHF用にはU・U混合器が、衛星受信BS(CS)用にはCS・BS/U混合器などがおすすめです。

●ブースターの混合機能をご使用の場合は、必要ありません。地上デジタル放送では、UHFアンテナを複数設置する場合など地域によって、混合器(U・Uなど)の新設が必要になる場合があります。

5 伝送路機器 ブースター ▶ P.10-12



ブースター

テレビ電波は給電線自体(距離に比例)のレベル低下や、接続されている分配器などの伝送路機器を通過する時などに減衰します。この減衰を補うためにブースター(増幅器)を使用します。地上波受信用にはUHFブースターを、さらにBSデジタル放送や110度CSデジタル放送を受信する場合には2150MHz対応ブースターがおすすめです。しかし、1台のブースターでこれらの信号を増幅する場合、相互変調などの妨害が発生したり、都度調整が必要となる場合がありますのでご注意ください。

6 伝送路機器 分配器

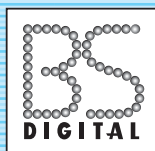


CS分配器

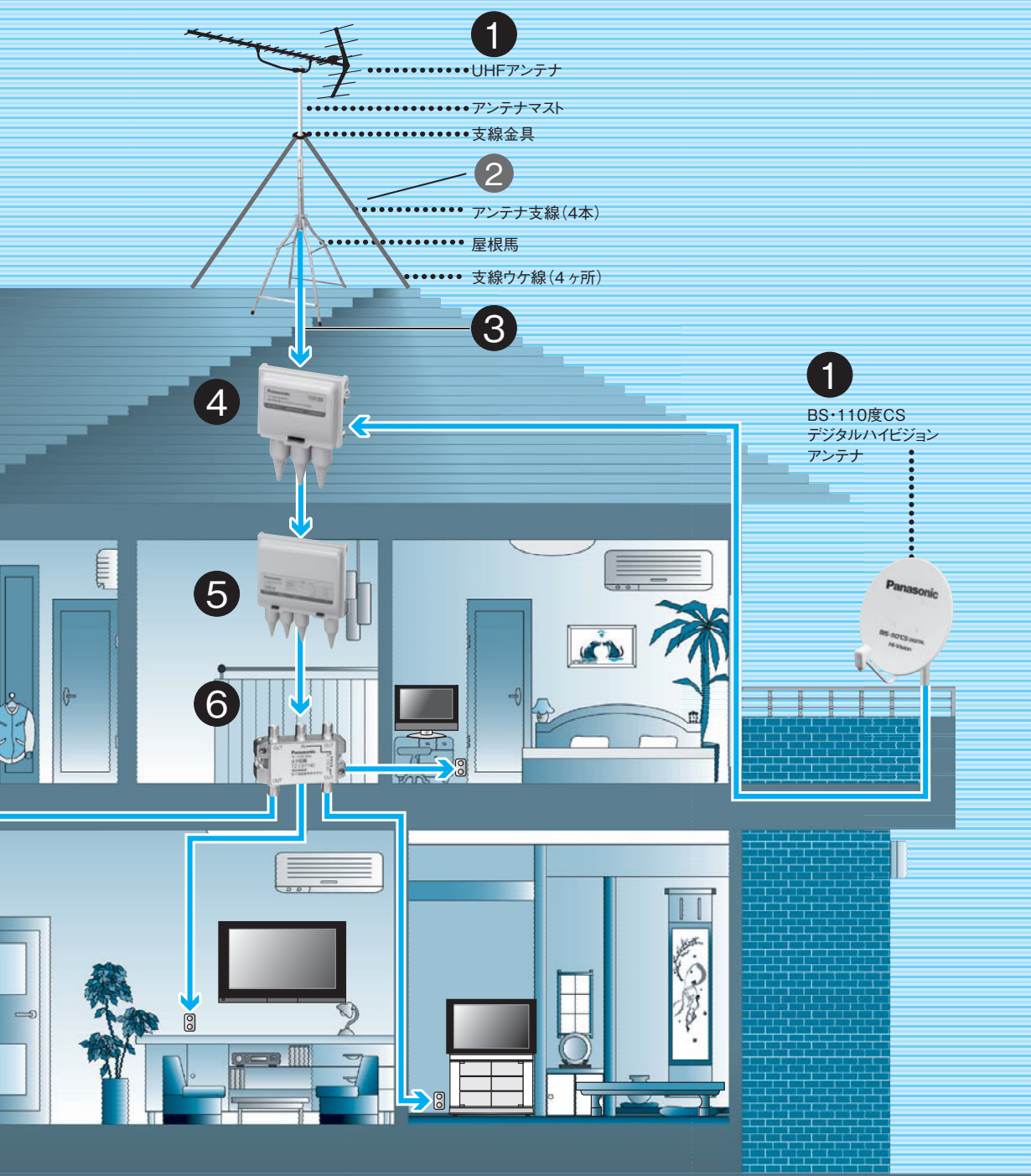
1本の給電線で送られてきたテレビ信号を2つ以上の受像機に等分する機器が分配器です。分配器には、全OUT→IN間電流通過機能がある2分配などがあります。

*ご使用上の注意

全OUT→INタイプの分配器を用いてBSアンテナに電源供給しますと、逆電流防止ダイオードが挿入されているので供給電圧が0.7V低下し、多段接続された場合、アンテナ供給電圧と分配信号が不足します。多段接続による供給電圧の低下を避け、ブースターで信号を増幅してください。



CONTENTS



〈マーク説明〉



地上デジタル
放送対応



BSデジタル
放送対応



110度CSデジタル
放送対応



CS・BS
2150 /UV
2150MHzの
広帯域対応



地上デジタル放送受信について

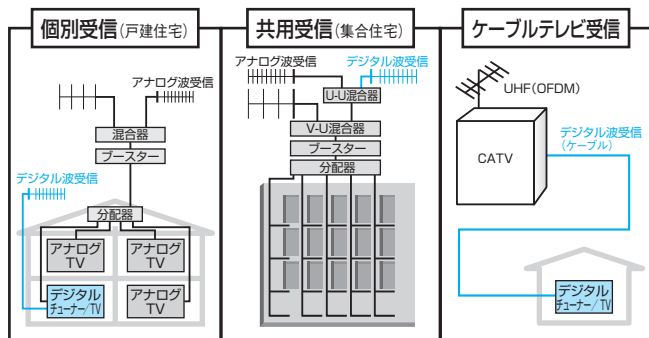
■ 地上デジタルテレビ放送に関するご相談、お問い合わせは

総務省 地デジコールセンター **0570-07-0101** (平日 9～21時、土日祝 9～18時) IP電話などナビダイヤルがかけられない場合は、**03-4334-1111** へ

地上デジタル放送の受信方法

3形態の地上デジタル放送受信

(戸建受信については、P.4でも記載しております。)



地上デジタル用アンテナを設置します。

VHFアンテナのみ設置されている場合やUHFアンテナが設置されていても(状況によって)新たにUHFアンテナが必要となる場合があります。

改修工事が必要です。

管理組合などで協議いただき、各専門業者への依頼が必要です。
(共同受信アンテナ等の設置・調整・交換などが必要な場合があります。)

ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

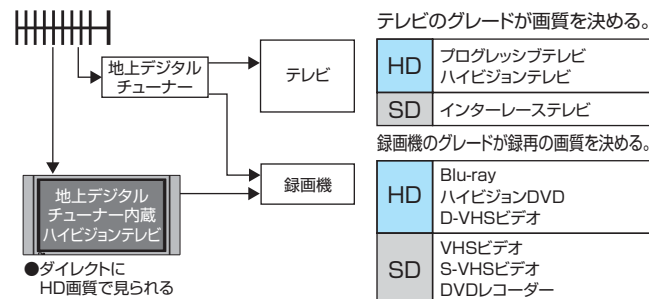
ケーブルテレビでは、各社により伝送方式が異なります。

受信システムについて

<<受信形態>>

- お客様の既存のテレビなどを使用して地上デジタル放送を受信するためには、地上デジタル放送用のチューナーが必要です。
- 既存のテレビと録画機を活用して地上デジタル放送を受信する場合も、地上デジタル放送用のチューナーが必要です。
- テレビを新規買い替える場合は、地上デジタル放送用チューナー内蔵テレビなら、そのまま受信することができます。

■地上デジタル放送の受信形態(既存テレビ+録画機)



画質のグレード

テレビや録画機のタイプや機種により、再生および録画の画質が異なりますので、お客様へのご購入プラン提案時にはご注意ください。尚、AV端子なしのテレビにつきましては、地上デジタル放送のサービス享受はできませんのでご注意ください。

アンテナの受信帯域

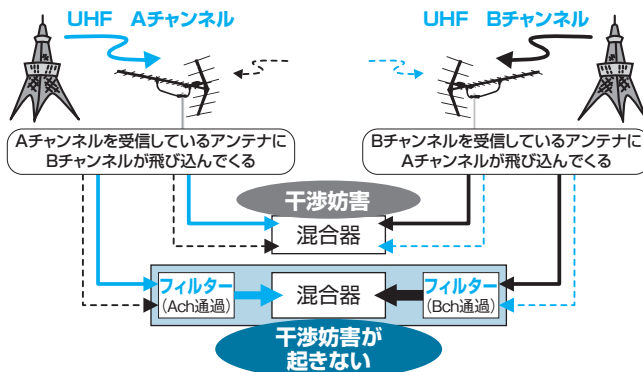
UHFアンテナの受信帯域		
13～30ch(L帯域)	31～44ch(M帯域)	45～62ch(H帯域)
UHFオールバンドアンテナ(UHF全帯域)		
お勧めです ●14素子:TA-14DU7 ●20素子:TA-20DU7		
UHFローミッドバンドアンテナ(UHF広帯域):13～50ch		
UHFミッドハイバンドアンテナ(UHF広帯域):30～62ch		

- お客様で、現在ミッドハイバンドタイプをご使用の場合、交換をお勧めください。
- 送信所から遠距離・地形や障害物などの陰で電波が弱い地域では、アンテナ利得の高い多素子タイプをお勧めください。

UHF-UHF混合時の留意点

複数のUHFアンテナを設置する場合、UHF-UHF混合器(もしくは同機能を持つ増幅器)を使用して各UHFの信号を混合します。混合器にはそれぞれの信号が干渉しないように、フィルター特性が入った混合器が必要です。

標準的なUHF-UHF混合システム



ブースター使用時の留意点

ブースター障害は小電力時は発生しませんが、増力の際にブースターが飽和してアナログ放送にノイズなどの受信障害を出す場合があります。この場合、ブースターの調整が必要です。



戸建受信での受信システム伝送路の確認

地上デジタル放送を快適に視聴する目安は、アンテナレベル44以上です。[当社受信機でのアンテナレベル]
アンテナレベルがそれ未満の場合は、以下の手順で受信システムの伝送経路を確認してください。

アンテナレベルが44未満の場合

UHFアンテナと
地上デジタル受信機を
直接接続して
受信状態を確認してください

受信できない

受信できた

放送エリア外と考えられます

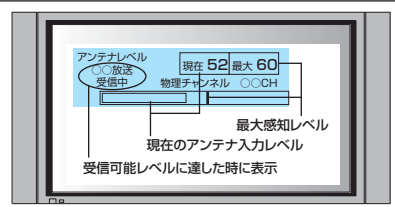
テレビ端子部でUHFデジタルが49dB(μV)以上を確保できるよう、下のチェックポイントをもとに伝送系を確認します。(デジタル対応型レベルチェッカーで確認してください)

※49dB(μV)以上確保できない場合は、地上デジタル専用アンテナでの直接受信をおすすめします。

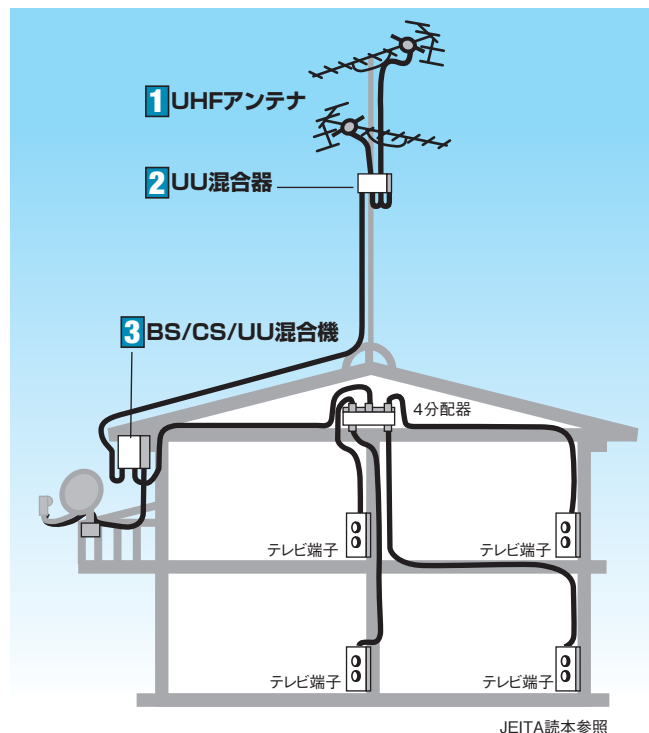
■アンテナレベル

アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。(受信の目安は44以上)

※電界強度は、レベルチェッカーで測定します。(受信機では表示できません)



伝送系確認のチェックポイント



JEITA読本参照

1 UHFアンテナ

①UHFアンテナ方向の再調整

- 地上デジタル送信局方向に変更しアンテナレベルが十分確保できるように再調整します。
- 送信所方向に障害物がある場合は、障害物がない場所へ移設します。

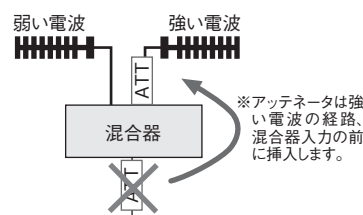
②UHFオールバンドアンテナに変更

- UHFミドルハイバンドアンテナを使用している場合、ローバンド帯域のチャンネルのアンテナレベルが低くなる場合があります。

③入力レベルが低い場合は、素子数の多いUHFアンテナに変更します。

2 混合器(U-U混合をしている場合)

- 入力レベル差がありアッテネータ(ATT)を使用している場合、適正に使用されているか確認します。



3 ブースター

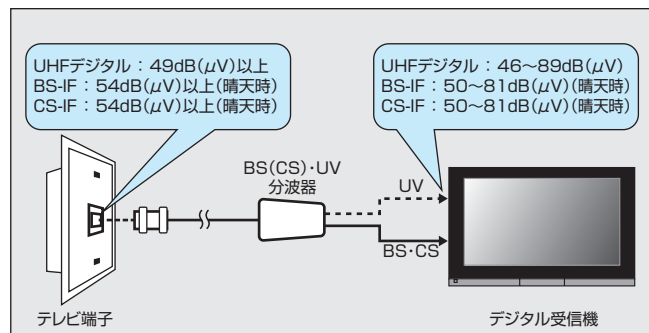
●ブースター出力レベルの確認

定格出力以上で使用している場合、入力レベルは満たしていても受信できないチャンネルが発生する場合があります。(ブースター飽和)

●ブースター飽和している場合

利得調整ボリュームを絞る。または、アッテネータ(ATT)などでレベルを下げ、飽和しないレベルに調整します。

《参考》受信に必要な入力レベル

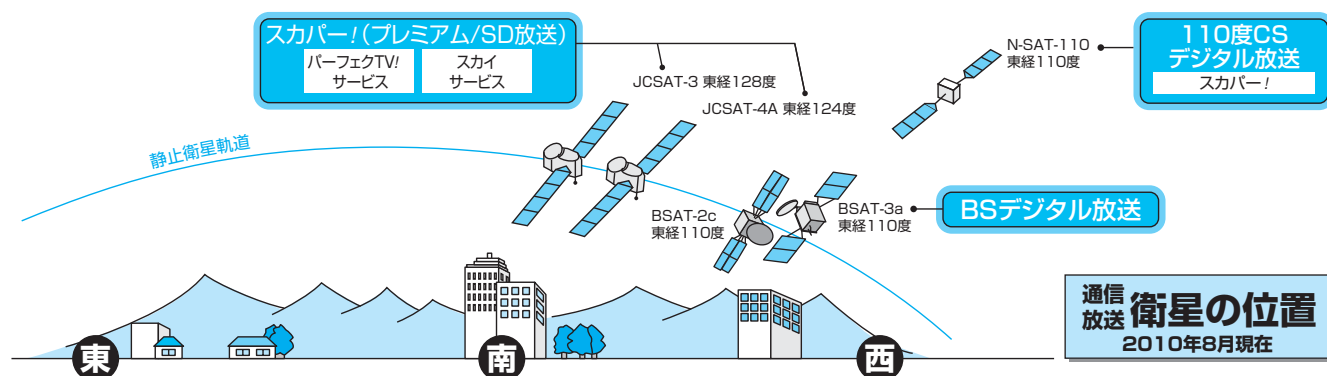


同軸ケーブル

- S-4CFB、S-5CFBと同等品の使用を推奨します。

衛星放送の放送環境と受信環境

衛星位置の概略



項目	衛星	BS	CS	
		BSデジタル	110度CSデジタル (スカパー!)	スカパー! (プレミアム/SD放送)
衛星名称		BSAT-3a	N-SAT-110	JCSAT-3
衛星軌道位置(東経)		110度	110度	128度
偏波		円偏波(右)	円偏波(右/左※1)	直線偏波(垂直/水平)
1チャンネル帯域幅(MHz)		34.5	34.5	27
変調方式		デジタル	デジタル	デジタル
放送開始		2000年12月	2002年4月	1997年1月

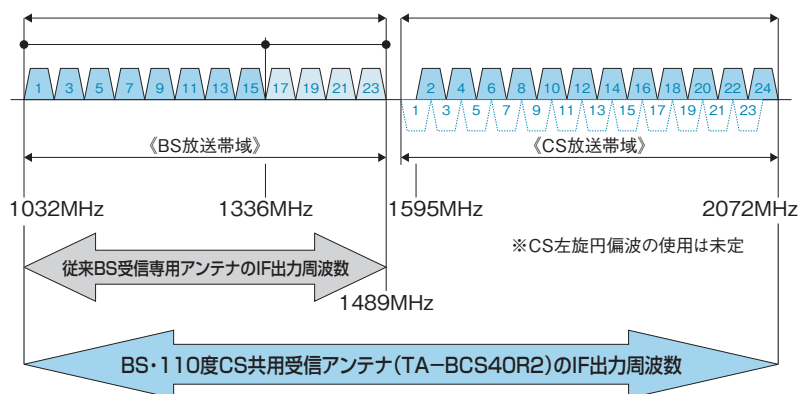
※1: CS左旋円偏波の使用は未定。

●SD放送は2014年5月に終了予定。

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送

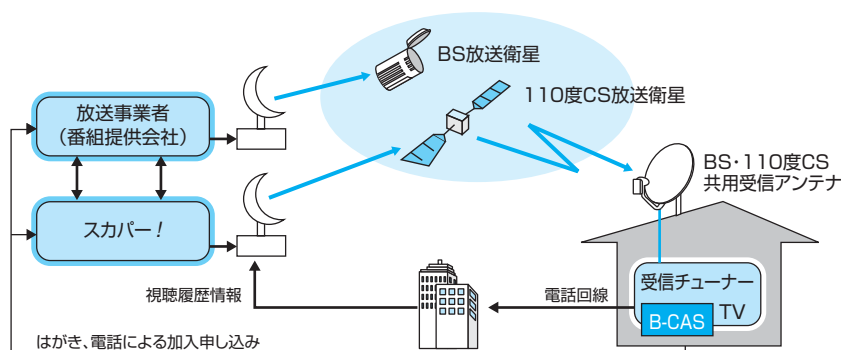
110度CSデジタル放送は、2000年(平成12年)にBSデジタルと同一軌道に打ち上げられた衛星を使った放送です。BSデジタルと同位置で、しかも同じ円偏波のため、対応商品であれば1台の受信アンテナでBSデジタル放送と、110度CSデジタル放送の双方が受信できます。デジタルCS放送「スカパー! (プレミアム/SD放送)」と110度CSデジタル放送との大きな違いは「衛星軌道位置」と「偏波」です。「スカパー! (プレミアム/SD放送)」は「直線偏波」を使用していますので、アンテナの内部構造が異なります。したがって、現在「スカパー! (プレミアム/SD放送)」を受信しているアンテナで、110度CSデジタル放送は受信できません。

BS・110度CSデジタル放送の放送帯域(IF周波数)(2011年9月現在)



有料放送のしくみ

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送では、有料放送や受信者を識別する必要があります。場合、B-CASカードで管理、識別します。



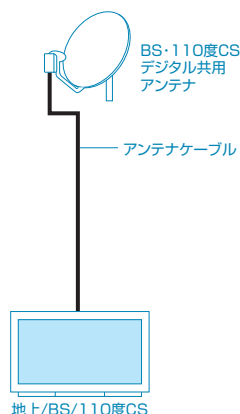
「110度CSデジタル放送(スカパー!)」を楽しむために

110度CSデジタル放送は、BSデジタル放送と同じ方向の衛星より電波が出ており、BSデジタル放送とともに手軽に楽しむことができますが、BSデジタル放送と干渉し合わないよう2072MHzまでのIF周波数帯域が用いられます。

また、BS用の受信システム機器はIF周波数が1032～1336MHzまでの機器が多く、今までの受信機器の性能によっては保証帯域を超えると信号ロスも大きく、適正レベルも得られにくくなります。従って、110度CSデジタル放送を楽しむには、広帯域2150MHzに対応した機器をご使用ください。

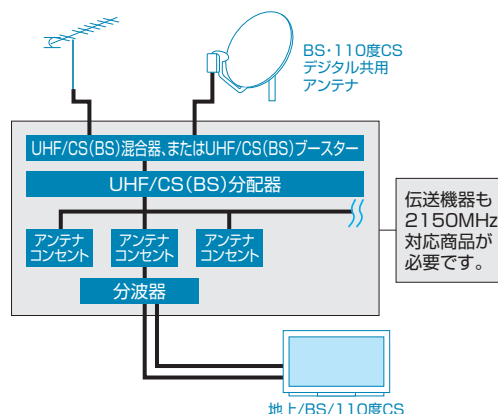
直接受信時

アンテナとチューナーをケーブルで直接つないで楽しめます。



混合受信時

地上放送、BS放送と混合・分配し各部屋で楽しめます。



区 分		アンテナ	配 線	分配器	ブースター
新規設置	①一戸建て(直接)		設置	設置	—
	②一戸建て(UHF混合&分配)		設置	設置	設置
	③集合住宅(マンション)		・ベランダ設置可能な場合は①or② ・ベランダ設置不可能な場合は建物内部の工事を伴うのでマンション管理会社orマンションの理事会等で要検討となる		
BSアンテナ 既設置	一戸建て(直接)	既設置BSアンテナ			
		④110度CS対応	不要	要確認	—
	一戸建て(UHF混合&分配)	⑤110度CS非対応	交換	交換	—
		⑥110度CS対応	不要	要確認	要確認
		⑦110度CS非対応	交換	交換	交換
		⑧集合住宅(マンション)	・マンションのBSアンテナシステムが110度CS対応かどうか調査が必要。 非対応の場合は上記③の場合が適用される。		

110度CS受信はBSより帯域が広いため、BS・110度CS対応アンテナと合わせ、それに対応した配線、分配器、ブースター等の部材が必要です。



←このマークが目印です!

カタログ中の **CS・BS 2150 / UV** マークのついた製品は、FM、UHFなどの地上放送、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の伝送にも適した広帯域伝送機器です。

BS・110度CSデジタル放送を受信される場合の設置や将来受信する可能性のある場合、本カタログのこのマークの付いた商品から機器の選択をしてください。

スカパー!を楽しむには

CSデジタル放送には、BSデジタル放送と同位置から配信される「110度CSデジタル放送(スカパー!)」の他に、東経124度/128度から配信される「スカパー!(プレミアム/SD放送)」があります。この放送を楽しむためには、専用のチューナーとアンテナが必要です。

BS・110度CSデジタル放送対応のチューナーとアンテナでは視聴できません。視聴申し込みも「110度CSデジタル放送」とは異なり、専用のICカードで有料放送契約内容などの管理がされます。

また「110度CSデジタル放送」は円偏波で送られてきますが、「スカパー!(プレミアム/SD放送)」は垂直偏波と水平偏波の両方があります。さらに110度CSデジタル放送とスカパー!は、同じ周波数帯域を使用しているため、信号を混合することはできません。スカパー!は直接配線で受信してください。

45型BS・110度CSデジタル
ハイビジョンアンテナ

●45型BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ

TA-BCS45R2 塩害対応 オープン価格(※)

TA-BCS45RK2 塩害対応 オープン価格(※)

取付部材付

BSデジタルハイビジョン放送・110度CSデジタル放送に対応した
高性能アンテナ※1。

- JEITAデジタルハイビジョン受信マークに登録の高感度設計
(雑音指数0.45dB(標準))。
- 背面金具は錆や塩害に強い溶融亜鉛系メッキ処理。
- 軽量で取り付けやすいアルミ製取付金具を同梱(TA-BCS45RK2)。

※1: JCSAT-3、JCSAT-4Aを使って放送されているスカパー!は受信できません。

■同梱取付部材(TA-BCS45RK2用)

接続付属同軸ケーブル
(15m)×1取付金具
(マスト径はφ31.8mm)その他:
テープ、ステッpler、工具

品名	BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ	
品番	TA-BCS45R2	TA-BCS45RK2
受信衛星	BSAT-3a、N-SAT-110	
受信周波数範囲(GHz)	11.71 ~ 12.75	
ローカル周波数(局部発振周波数)(GHz)	10.678	
受信偏波	右旋円偏波	
アンテナ口径(cm)	45	
性能指数(G/T)(dB/K)	BS帯域: 14.7(標準)、CS帯域: 15.0(標準)*1	
アンテナ利得(dBi)	BS帯域: 33.8(標準)、CS帯域: 34.1(標準)*1	
雑音指数(dB)	0.45(標準)	
位相雑音特性(dBc/Hz)	1kHzオフセット時 -65(標準)	
出力周波数(MHz)	1032~2072	
コンバーター総合利得(dB)	52(標準)	
出力構造	防水型 75Ω F型接続	
電源(V)	DC15(接続している受信機器よりケーブルに重畳)*2	
消費電力(W)	1.5以下(DC15V入力時)	
適合マスト径(mm)	φ25~φ49	
仰角調整範囲	マストの中間取付時23°~56°、マストの先端取付時23°~68°	
寸法(幅×高さ×奥行)(mm)	467×574×492 (φ38.1mmのマストへ取り付けられた状態の最大寸法(アンテナ仰角40度時))	467×574×700 (同梱の取付部材を取り付けた状態での最大寸法(アンテナ仰角40度時))
質量(kg)	約1.6	アンテナ部 約1.6 アンテナ取付部材 約1.2(接続付ケーブルは除く)

*1 BS帯域: 11.71GHz~12.01GHz CS帯域: 12.20GHz~12.75GHz *2 コンバーター電源の規格は、コンバーター出力端子に必要な電源電圧です。●本アンテナのマスト取付金具部は錆や塩害に強い「溶融亜鉛系メッキ処理」を施しています。

●アンテナマストは別売です。(TA-BCS45RK2は取付部材付属)

●両方向電流通過型の分配器を使用する場合は電圧降下が生じるため、直列に2個以上接続しないでください。分配数が多い場合はブースター(電源供給型)をご使用ください。

TA-BCS45R2、TA-BCS45RK2は、JEITAデジタルハイビジョン受信マーク制度に登録の際に、BS放送・110度CSデジタル放送受信用アンテナとしての性能確認も受けています。

●衛星放送は、豪雨・降雪など天候の影響によって、画像や音声の乱れを招くことがあります。

●1998年3月以前に生産・販売していましたフラットBSアンテナは、性能特性上、BSデジタル放送受信には適しません。

※オープン価格の商品は希望小売価格を定めていません。

この紙面に掲載の商品の価格には、配送・設置調整費、アンテナ・組立費・工事費、使用済み商品の引き取り費用等は含まれておりません。

性能を保証するJEITAデジタル
ハイビジョン受信マーク制度(JEITA DHマーク)

DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、(社)電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

JEITAでは、受信機器の性能および品質の維持向上のためJEITAデジタルハイビジョン受信マーク制度を制定(2003/12)。BSアンテナの場合、BSデジタルマーク機器として登録承認されるのに必要なポイントは以下の2つの性能です。

1.性能指数(G/T)=13dB/K以上

アンテナのG/Tが13dB/K以上あると日本の大半でBSデジタルハイビジョン放送を受信するのに必要なCN比19dB以上(晴天時)が得られ、良好な受信を確保することが出来ます。

2.位相雑音=-52dBc/Hz以下
(1kHzオフセット)

位相雑音とはBSコンバーターの局部発振周波数位相揺らぎのことで、局部発振周波数に雑音成分が多いと受信機に影響を与え、受信が困難になる場合があります。-52dBc/Hz(1kHzオフセット)はBSデジタル放送受信に最低限必要な位相雑音特性の代表値です。

地上デジタル放送用
平面アンテナ

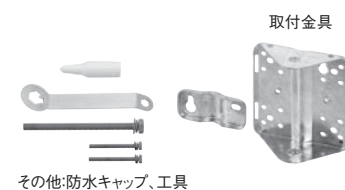
●地上デジタル放送対応
平面アンテナ
TA-DUF200 オープン価格(※)
取付部材付

多様な設置シーンに対応の平面アンテナ。

- 20素子相当^{※1}の高い受信感度で、幅広いシーンで受信可能^{※2}。
- 戸建ての屋根上や壁面、マンションのベランダ設置など多様な設置シーンに対応。
- 水平・垂直偏波に対応。

※1: 利得7.5~9.5dB(標準値)として。 ※2: 全ての状況下での受信を保証するものではありません。

■同梱取付部材



取付金具

その他:防水キャップ、工具

品 名	地上デジタル放送用 平面アンテナ(75Ω用)
品 番	TA-DUF200
受信チャンネル	ch13~62
動作利得(dB)	7.5~9.5(標準値)
出力インピーダンス(Ω)	75(F型)
偏波面	水平・垂直偏波
電圧定在波比(以下)	2.5
半値幅(度)	80以上
前後比(dB)	16以上
寸法(幅×高さ×奥行)(mm)	303×526×118(専用取付金具含む)
質量(kg)	アンテナ部 約1.8 専用取付金具 約1.1(同軸ケーブルなどは除く)
マスト径(mm)	φ22~φ49、角柱30×30~45×45

●アンテナマストは別売です。(取付部材は付属)

※オープン価格の商品は希望小売価格を定めていません。

【地上デジタル放送電波を良好に受信いただくために】

- 見通しの良い場所に設置する:電波到来方向に正しく向けてください。建物・樹木などの陰は電波が非常に弱くなります。
- 高い位置に設置する:一般に、放送局からの電波は高い位置ほど強い電波が受信できます。
- 雑音源(妨害電波)を避ける:ネオンサイン、アマチュア無線アンテナ、携帯電話が妨害源となることがあります。
- アンテナをしっかりと固定する:BSアンテナの設置部材(同梱取付部材使用)やステーワイヤーなどを使って設置してください。

アンテナ設置上のご注意

- 1.複数のアンテナを設置する場合は、相互干渉を避けるため、アンテナ間はUHFでは60cm以上の間隔をとってください。
- 2.同一アンテナマストに3本以上のアンテナを取り付ける場合は、太さ32mmφ以上、長さ3m以上のものをご使用ください。また、これにともない、屋根馬の使用をおすすめいたします。

この紙面に掲載の商品の価格には、配送・設置調整費、アンテナ・組立費・工事費、使用済み商品の引き取り費用等は含まれておりません。



家庭用

UHFアンテナ

UHFオールバンドアンテナ

〈地上デジタル放送対応〉

●地上デジタル放送対応
UHFオールバンドアンテナ

TA-14DU7(14素子)

希望小売価格 4,830円(税抜4,600円)

●地上デジタル放送対応
UHFオールバンドアンテナ

TA-20DU7(20素子)

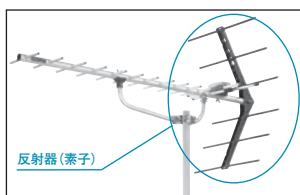
希望小売価格 5,985円(税抜5,700円)



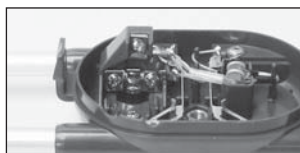
高利得特性を実現したUHFオールバンドアンテナ。

- 高い前後比特性と鋭い指向特性が得られる新構造反射器(コーナーリフレクター)採用。
- サテライト局から送られてくる電波の受信にも配慮した水平/垂直偏波両地域対応。
- 出力端子はデジタル伝送を意識した同軸ケーブル(75Ω)専用仕様。
- 反射器(素子)をカラーリング、軽量・小型化を実現した新デザイン。

品 名	UHFオールバンドアンテナ(75Ω用)	
品 番	TA-14DU7	TA-20DU7
受信チャンネル	ch13~62	ch13~62
素子数	14	20
周波数帯域(MHz)	470~770	470~770
動作利得(dB)	7.5~11.8	8.0~12.8
出力インピーダンス(Ω)	75	75
偏波面	水平(垂直)	水平(垂直)
電圧定在波比(以下)	2.2	2.0
半値幅(度)	32~58	28~54
前後比(dB)	16.0~22.0	17.0~22.0
寸法(長さ×幅×高さ)(mm)	1,000×340×518	1,360×340×518
質量(kg)	0.71	0.78
マスト径(mm)	φ16~39	φ16~39



◀6本の反射器(素子)を採用することで、妨害波を高精度に排除。



◀同軸ケーブルの取り付けが容易な新形状給電部(ケーブルを真下から挿入可能)の合理化機構を採用。

●アンテナマストは別売です。

【地上デジタル放送電波を良好に受信いただくために】

- 見通しの良い場所に設置する:電波到来方向に正しく向けてください。建物・樹木などの陰は電波が非常に弱くなります。
- 高い位置に設置する:一般に、放送局からの電波は高い位置ほど強い電波が受信できます。
- 雑音源(妨害電波)を避ける:ネオンサイン、アマチュア無線アンテナ、携帯電話が妨害源となることがあります。
- アンテナをしっかり固定する:BSアンテナの設置部材やステーワイヤーなどを使って設置してください。

アンテナ設置上のご注意

1. 複数のアンテナを設置する場合は、相互干渉を避けるため、アンテナ間はUHF圏内では60cm以上の間隔をとってください。
2. 同一アンテナマストに3本以上のアンテナを取り付ける場合は、太さ32mmφ以上、長さ3m以上のものをご使用ください。また、これにともない、屋根馬の使用をおすすめいたします。



DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、(社)電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

この紙面に掲載の商品の価格には、配送・設置調整費、アンテナ・組立費・工事費、使用済み商品の引き取り費用等は含まれておりません。



家庭用 CS (BS) /UHF、CS (BS) ブースター

●ご発注には、バーコードもご活用ください。

地上・BS・110度CSデジタル放送の視聴に配慮した、2150MHz対応。

＜TY-BCSUM35FS、BCSM35FS、BUM35FS共通＞

- 携帯電話除去フィルターにより携帯電話基地局付近でもテレビ受信への影響を軽減。
- 電波の弱い地域でも安定した画像が得られるローノイズ設計。
- 電源プラグに耐トラッキング対策品を使用した安全設計。
- 高シールド構造採用。

地上・BS・110度CSデジタル放送対応家庭用ブースター
電源分離型:専用電源部付

増幅部(屋内・外共用)／電源部(屋内用)

CS・BS 2150 /UV

地上デジタル BSデジタル CSデジタル

プリアンプバック

●CS(BS)/UHFブースター
(CS-IF(BS-IF)・UHF増幅/VHF/パス)

TY-BCSUM35FS★
オープン価格(※)

CS増幅 BS増幅 UHF増幅 VHFパス

プリアンプバック商品用バーコード

4 984824 724570

- 各帯域別の入力アッテネータースイッチと利得調整ボリューム装備。

品名	ブースターCS-IF(BS-IF)・UHF増幅/VHF/パスタイプ		
品番	TY-BCSUM35FS		
使用帯域	VHF	UHF	CS-IF(BS-IF)
使用チャンネル	FM-ch1～ch12	ch13～ch62	—
使用周波数	76MHz～222MHz	470MHz～770MHz	1032MHz～2610MHz
標準利得	0dB～2.0dB	27dB～33dB	22dB～33dB
利得調整範囲	—	0dB～10dB以上(連続可変)	0dB～10dB以上(連続可変)
入力アッテネーター	—	0dB、10dB(スイッチ切換)	0dB、10dB(スイッチ切換)
定格出力	—	111dBμV※1	103dBμV(24波)
電圧定在波比	3.0以下	3.0以下	2.5以下
雑音指数	—	1.5dB～3.0dB	2.0dB～5.0dB
入出力インピーダンス	75Ω(F型)		
コンバーター用電源容量	—	—	DC15V 4W
重畳電源	DC15V(伝送線重畳式)/160mA		
使用温度範囲	-20℃～+50℃		
外形寸法	幅14.0cm×高さ12.8cm×奥行5.5cm		
質量	450g		
対応マスト直径	φ25mm～φ43mm		
付属品	防水キャップ×4個、F型接栓×6個(5C相当ケーブル用)		
使用周波数	10MHz～2610MHz		
電源	AC100V(50/60Hz)/10W		
重畳電源	DC15V/500mA		
入力インピーダンス	75Ω(F型)		
出力インピーダンス	75Ω(F型)		
挿入損失	0.1dB～1.5dB(10MHz～1000MHz)		
使用温度範囲	-10℃～+40℃		
外形寸法	幅12.0cm×高さ3.7cm×奥行10.0cm		
質量	260g		

※1:アナログ2波+デジタル9波(-10dB運用時)の値です。

※2:アナログ7波+デジタル9波(-10dB運用時)の値です。

地上・BS・110度CSデジタル放送対応家庭用ブースター
電源分離型:専用電源部付

増幅部(屋内・外共用)／電源部(屋内用)

CS・BS 2150 /UV

地上デジタル BSデジタル CSデジタル

プリアンプバック

●CS(BS)ブースター
(CS-IF(BS-IF)増幅/UHF/VHF/パス)

TY-BCSM35FS★
オープン価格(※)

CS増幅 BS増幅 UHFパス VHFパス

プリアンプバック商品用バーコード

4 984824 724587

- 入力アッテネータースイッチ及び利得調整ボリューム装備。
- UHFブースター用電源スイッチ搭載。

●DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、(社)電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

※オープン価格の商品は希望小売価格を定めていません。

品名	ブースターCS-IF(BS-IF)増幅/UHF/VHF/パスタイプ		
品番	TY-BCSM35FS		
使用帯域	VHF	UHF	CS-IF(BS-IF)
使用チャンネル	FM-ch1～ch12	ch13～ch62	—
使用周波数	76MHz～222MHz	470MHz～770MHz	1032MHz～2610MHz
標準利得	0dB～2.0dB	0dB～4.0dB	22dB～33dB
利得調整範囲	—	—	0dB～10dB以上(連続可変)
入力アッテネーター	—	—	0dB、10dB(スイッチ切換)
定格出力	—	—	103dBμV(24波)
電圧定在波比	3.0以下	3.0以下	2.5以下
雑音指数	—	—	2.0dB～5.0dB
入出力インピーダンス	75Ω(F型)		
コンバーター用電源容量	—	—	DC15V 4W
重畳電源	DC15V(伝送線重畳式)/60mA		
使用温度範囲	-20℃～+50℃		
外形寸法	幅14.0cm×高さ12.8cm×奥行5.5cm		
質量	450g		
対応マスト直径	φ25mm～φ43mm		
付属品	防水キャップ×4個、F型接栓×6個(5C相当ケーブル用)		
使用周波数	10MHz～2610MHz		
電源	AC100V(50/60Hz)/10W		
重畳電源	DC15V/500mA		
入力インピーダンス	75Ω(F型)		
出力インピーダンス	75Ω(F型)		
挿入損失	0.1dB～1.5dB(10MHz～1000MHz)		
使用温度範囲	-10℃～+40℃		
外形寸法	幅12.0cm×高さ3.7cm×奥行10.0cm		
質量	260g		

●UHFブースターへのDC15V電源供給「入」「切」スイッチ付き。

- ブースターを正しく使用し、美しい映像でお楽しみください。

ブースターは、使用方法を誤ると美しい映像が見られないばかりか、発振(妨害電波を発生する現象)を起こす原因となり、ご近所に迷惑を与えることがあります。

- 入出力端子の接続は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
- 入力と出力の同軸ケーブルは、束ねたりブースターに巻き付けたりしないで10cm以上離してください。
- アンテナとブースターは、1m以上離してください。

この紙面に掲載の商品の価格には、配送・設置調整費、アンテナ・組立費・工事費、使用済み商品の引き取り費用等は含まれておりません。

★印の商品は在庫切れの場合があります。



UHFブースター

●ご発注には、バーコードもご活用ください。

地上デジタル放送対応
家庭用ブースター
電源分離型:専用電源部付

CS・BS
2150 /UV



ブースター
バック

増幅部(屋内・外共用)／電源部(屋内用)



●UHFブースター
(UHF増幅／CS-IF(BS-IF)・VHF/パス)
TY-BUM35FS★
オープン価格(※)

ブースターバック商品用バーコード



UHF
増幅

CS
パス

BS
パス

VHF
パス

●入力アッテネータースイッチ及び利得調整ボリューム装備。

品名		ブースター UHF増幅／CS-IF(BS-IF)・VHF/パスタイプ		
品番		TY-BUM35FS		
増幅部	使用帯域	VHF	UHF	CS-IF(BS-IF)
	使用チャンネル	FM・ch1～ch12	ch13～ch62	—
	使用周波数	76MHz～222MHz	470MHz～770MHz	1032MHz～2610MHz
	標準利得	0dB～2.0dB	27dB～33dB	0dB～4.0dB
	利得調整範囲	—	0dB～10dB以上(連続可変)	—
	入力アッテネーター	—	0dB、10dB(スイッチ切換)	—
	定格出力	—	111dBμV※1 103dBμV※2	—
	電圧定在波比	3.0以下	3.0以下	2.5以下
	雑音指数	—	1.5dB～3.0dB	—
	入出力インピーダンス	75Ω(F型)		
	コンバーター電源容量	—	—	DC15V 4W
	重畳電源	DC15V(伝送線重畳式)/115mA		
	使用温度範囲	-20℃～+50℃		
	外形寸法	幅14.0cm×高さ12.8cm×奥行5.5cm		
	質量	450g		
電源部	対応マスト直径	φ25mm～φ43mm		
	付属品	防水キャップ×4個、F型接栓×6個(5C相当ケーブル用)		
	使用周波数	10MHz～2610MHz		
	電源	AC100V(50/60Hz)/10W		
	重畳電源	DC15V/500mA		
	入力インピーダンス	75Ω(F型)		
	出力インピーダンス	75Ω(F型)		
	挿入損失	0.1dB～1.5dB(10MHz～1000MHz) 0.2dB～2.4dB(1000MHz～2610MHz)		
	使用温度範囲	-10℃～+40℃		
	外形寸法	幅12.0cm×高さ3.7cm×奥行10.0cm		
	質量	260g		

※1:アナログ2波+デジタル9波(-10dB運用時)の値です。

※2:アナログ7波+デジタル9波(-10dB運用時)の値です。

※オープン価格の商品は希望小売価格を定めていません。

この紙面に掲載の商品の価格には、配送・設置調整費、アンテナ・組立費・工事費、使用済み商品の引き取り費用等は含まれておりません。

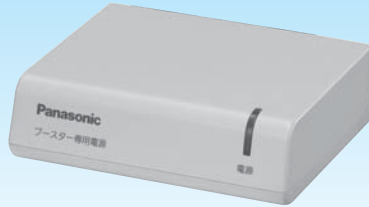
★印の商品は在庫切れの場合があります。



ブースター専用電源

●ご発注には、バーコードもご活用ください。

ブースター専用電源 屋内用



●屋内用ブースター専用電源

TY-BPH05CD★
オープン価格(※)

●既設のUHFブースターに、新たにBS放送受信システムを追加する場合など、UHFブースターとBSアンテナのコンバーターへDC15V給電をするためのブースター専用電源。

●電源ランプ表示付。

●分離型ブースターの電源使用に関する注意事項

- ブースター及び増幅器の分離型電源部の電流容量は増幅部と一対での設計になっております。
- ④増幅部が2台の場合、あるいはUHFブースターと併用で供給の場合、電源部は必ず別売(上記)の「ブースター専用電源」をご使用ください。
- 本機の接続には200Ω、300Ωのフィーダー線はご使用になれません。
- 本機からDC15Vがブースターに供給されるため、ブースターと本機との間に分配器、分岐器、アンテナコンセントを接続する場合は、必ず電流通過型の機器をご使用ください。

ブースター専用電源の適応機種一覧

TY-BPH05CDの適応機種	
DC15V電源供給	
CS/BSコンバーター	Panasonic CS/BSアンテナ 全機種
CSブースター	TY-BCSM33GS TY-BCSM33GT TY-BCSM35FS TY-BCSUM33GS TY-BCSUM35FS TY-BCSW33GS TY-BCSW35FS
BSブースター	TY-BSM30GS TY-BSM30GSA TY-BSM30GT
VHFブースター	TY-BVM28GS TY-BVM32GS TY-BVM32GT TY-BVM40SB TY-BVM40SBT
UHFブースター	TY-BUM32GS TY-BUM32GT TY-BUM1419 TY-BUM28GS TY-BUM32GS TY-BUM32GT TY-BUM33GS TY-BUM35FS TY-BUM37SB TY-BUM38NA TY-BUM38NAT TY-BUM40SB TY-BUM40SBT
CS/BSラインブースター	TY-BCS23L TY-BCS23LK
U-Vブースター	TY-B38NA TY-B38NAT TY-BUV28GS TY-BUV32GS TY-BUV32GT TY-BUV33GS TY-BUV33GT TY-BUV35FS TY-BUV37SB TY-BUV40SB TY-BUV40SBT TY-BUV6930BT TY-BUV6930SB
BS/UHFブースター	TY-BSUM32GS TY-BSUM32GSA TY-BSUM33GS
BS/U-Vブースター	TY-BSW32GS TY-BSW32GSA TY-BSW33GS

●ブースター専用電源と上記適応機種との機器は、必ずBS-IF対応型の電流通過型をご使用ください。
——は生産販売完了商品です。

品名	ブースター専用電源
品番	TY-BPH05CD
使用周波数	10MHz～2610MHz
電源	AC100V(50/60Hz)/10W
重畳電源	DC15V/500mA
入力インピーダンス	75Ω(F型)
出力インピーダンス	75Ω(F型)
挿入損失	0.1dB～1.5dB(10MHz～1000MHz)
	0.2dB～2.4dB(1000MHz～2610MHz)
使用温度範囲	-10℃～+40℃
外形寸法	幅12.0cm×高さ3.7cm×奥行10.0cm
質量	260g

■家庭用屋外型ブースター適正入力(35FSシリーズ)

		雑音指数 (dB)	利得 (dB)	適正入力レベル (dBμV)		定格出力 (dBμV)
VHF (LOW)	33dBタイプ	3.5	25	36 ～ 80	[90]※5	105※3
VHF (HIGH)	33dBタイプ	3	30	35 ～ 75	[85]※5	
UHF	33dBタイプ	3	33	35 ～ 70	[80]※5	103※4
CS/BS	33dBタイプ	5	33	48 ～ 70	[80]※5	103※4

※3:VHF (LOW)2波、UHF (HIGH)5波。

※4:アナログ7波+デジタル9波 (-10dB運用)時。アナログ2波+デジタル9波 (-10dB運用)時は、111dBμVです。

※5:[]内入力オーバー時はアッテネーターをONにし、適正入力レベル値内にしてください。

地上デジタル放送受信の場合、適正レベルであってもSFN障害(2局以上の中継局からの、同一周波数の放送波を受ける地域)など、受信障害を受け良好な受信とならない場合があります。適正入力レベルは参考としてください。

※オープン価格の商品は希望小売価格を定めていません。

この紙面に掲載の商品の価格には、配送・設置調整費、アンテナ・組立費・工事費、使用済み商品の引き取り費用等は含まれておりません。

★印の商品は在庫切れの場合があります。

■ 地上デジタルテレビ放送に関するご相談、お問い合わせは

総務省 地デジコールセンター **0570-07-0101** (平日 9～21時、
土日祝 9～18時) IP電話などナビダイヤルがかからない場合は、**03-4334-1111** へ

地上・BSデジタル放送について、下記ホームページでもご覧いただけます。

社団法人 デジタル放送推進協会 ホームページ **<http://www.dpa.or.jp/>**

放送エリアのめやすや視聴方法など、地上・BSデジタル放送についての最新情報をご紹介します。

 安全に関する ご 注 意	●お客様にはご使用の際、取扱説明書をよくお読みいただくようおすすめください。	屋内用設置の機器は、水、湿気、ほこり、油煙等の多い場所に設置しないでください。 火災、故障、感電などの原因となることがあります。
--	--	---

保証書 に関する お願い	●保証書添付の商品の引き渡しの際には、必ず必要事項をご記入ください。 ●衛星アンテナの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。
その他使用上の ご 注 意	①こまめにスイッチを切りましょう。②適切な明るさと音量で楽しみましょう。③就寝前には主電源を切りましょう。 「実際の製品にはご使用上の注意を表示しているものがあります。」(対象商品・電源分離型ブースター)

eco
ideas

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます

詳しくはホームページで
panasonic.co.jp/eco

省エネ

省エネを徹底的に追求した家電製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO₂排出量削減を目指します。

省資源

新しい資源の使用量を減らし、使用済みの家電製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

化学物質

パナソニック製品は、特定の環境負荷物質^{*}の使用を規制するRoHS指令の基準値にグローバルで準拠しています。
^{*}鉛・カドミウム・水銀・六価クロム・特定臭素系難燃剤

パナソニック株式会社
コンシューマーマーケティング ジャパン本部

〒100-0011 東京都千代田区千代田1-3-1

このカタログの記載内容は
2013年3月11日現在のものです。

●実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。 ●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。

上手に使って上手に節電